

編集後記：平成11年の4月から「天気」の編集委員になり、解説と気象談話室を担当しております。また平成12年の7月から「気象集誌」の編集委員も兼任することになりました。これまで、両誌ともに投稿する立場からの参加でしたが、編集作業を通じて学会誌の持つ役割などを改めて考える良い機会になっております。

さて、日本気象学会第31期第2回理事会 (<http://www.soc.nacsis.ac.jp/msj/others/RD/RD31/RD31-z02.html>) において「気象集誌」の100%英文化が承認されました。そのため「気象集誌」の日本語要旨は、来月号から「天気」に掲載されることになりました。これに伴い、双方の編集委員を務める私が、和文要旨の転載を担当することになりました。

二誌の持っている目的や役割は若干異なり、会員の方の中には賛否両論を含め様々なご意見があるか

と思います。まずは4000名近い「天気」の読者にとって「気象集誌」の概略を簡単に知ることが出来るというのは朗報ではないかと思います。

しかしながら、従来の「気象集誌」の和文要旨を読み返してみると、決して多くはないのですが、難解な表現などが散見されます。「天気」の読者のバックグラウンドは様々であるので、著者は自分の研究のPRだと思って、内容や論文のポイントが誰にでも良くわかるような魅力的な要旨を心掛けてほしいと思います。

この辺の問題は、現在のところ編集作業を含め、どのような形にしたら良いのか双方の委員会等で議論を重ねております。また会員の皆さんからのご意見も取り入れた上で、後日1つの指針のようなものを提案出来ればと思っております。

(植田宏昭)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)

藤部文昭(理事)・石田純一

植田宏昭・小田切さやか

大淵 濟・金田昌樹・川島正行

木下 仁・小出 寛・小司禎教

佐藤晋介・住 明正・関山 剛

田口晶彦・高橋 宙・高山 大

寺坂義幸・中西幹郎・中村 尚

新村典子・板東恭子・別所康太郎

水野孝則・水野 量・山本 哲

地区編集委員 北海道 若原勝二・向川 均

東北 小柴 厚・早坂忠裕

関東 河原幹雄・竹内 仁

中部 永尾一平・井上長俊

関西 和田高秀・山中大学

九州 金崎 厚・中島健介

沖縄 仲大安英

編集書記 遠藤和子